

# 日刊 動労千葉

83. 6. 15

No. 1365

### 国鉄千葉動力車労働組合

千葉市要町二一八（動力車会館）  
（鉄電）二九三五・六（公衆）〇四七二・二二七二〇七

# 当局-動労「本部」革マルの攻撃に 支部一丸となって闘おう

## 6/4津田沼支部職集まる

六月四日、午後一時より電車区講習室で支部職場集  
会が開催された。

集会には、本部より関川委員長、中江顧問（船橋市  
議）、山口副委員長、重見特別執行委員が出席し、中  
江選挙闘争総括、動乗勤改悪、合理化問題、6・12不  
当判決、さらにパイプライン八月供用開始を軸とした  
三里塚二期攻撃の切迫に対する闘い等、について、活  
発な討論が行われた。

この中で、特に動乗勤改悪については早急に学習会  
を開催して、今月中にも再度職集をもち、反動の体制  
を強固に確立していくことが確認された。

### 三里塚二期攻撃・ 動乗勤改悪攻撃を総力で闘おう！

冒頭、山下支部長より「中江選挙闘争勝利の力  
を職場で発揮することが、当局・動労『本部』革  
マルの攻撃を粉碎する道だ。本日の職場集会を通  
し、動労千葉の本領を発揮する強固な反撃の体制  
を確立しよう」とのあいさつをうけて集会に入っ  
た。

最初に関川委員長より、中江選挙闘争への御礼、  
さらに「戦争への道を阻止し、右翼的方向へつき  
進む日本労働運動を変えていくためにこそ、組織  
の団結をつよめ闘おう」とのあいさつをうけた。

### 動労「本部」との組織戦に勝利した 中江氏がお礼と決意

つづいて中江顧問より、御礼が述べられ「権力、  
右翼、動労『本部』革マルの敵対の中で闘いぬい  
たこの選挙闘争の勝利は、一三〇〇の団結の力を  
示すとともに、三年有余にわたる動労『本部』革  
マルとの組織戦に結着をつけたもの」、「市民の

動労千葉への信頼が大きく高まった。六月議会で  
は、反動中曾根と対決し戦争への道を船橋から阻  
止するため、『平和都市宣言』の実現を提起した  
い」との決意が述べられ、圧倒的拍手で確認され  
た。

### 活発な討論を通じて、反撃の体制を固める

集会はこの後、山下支部長より、「6・12反動  
判決」、動乗勤改悪問題、運転適性検査、ジェツ  
ト闘争等、七点にわたり課題が提起され討論が行  
われた。

討論は、動乗勤改悪、ステッカー問題、8・8  
パイプライン供用開始―三里塚二期着工をめぐる  
本格的な攻撃の開始、夏季手当等、活発な意見が  
出された。総括的答弁を山口副委員長からうけて、  
今後予想される攻撃に津田沼支部一丸となって闘  
っていくことを全体で確認して終了した。

## いとひさ八重子の 必勝を



### わたしの決意

先輩の加瀬元参議院議員  
先生のあとを継いで出ること  
になりました。皆様、よろし  
くお願いします。

私は、今の政治に改悪、福  
祉、教育の三つの不安を持っ  
ています。まず、防衛、外交  
にはこれまで歴代の内閣でそ  
れなりの歯止めがあったもの  
を中曽根さんは、その歯止め  
をはずしている。

福祉、教育費を削って防衛  
費を突出させた。これは明ら  
かに憲法への歩みだといえま  
ず。悲惨な戦争の体験から平

和憲法ができた。社会党の非  
武装中立もこの理念によるも  
のです。いま、行革が言われ  
ているが、教育、福祉を切り  
捨てるのは真の行革ではあり  
ません。真の行革は国民のた  
めのものでなければいけな  
い。私は二十七年間、中学の  
教師をしてきたが、偏差値で  
振り分けられる現在の教育は  
真の教育ではない。子供の個  
性、可能性を伸ばすのが教育  
です。私は、平和と奮闘して  
教育を守ります。皆さんの温  
かいご支援をお願いします。

### 《投票日》

六月二六日(日)

◇ こんどの参議院選挙か  
ら、比例代表区(全国区)  
は政党名で投票(日本社  
会党または社会党)して  
下さい。個人名を書く  
無効になります。

◇ 選挙区(地方区)は従  
来通り個人名(いとひさ  
八重子)と書いて投票し  
て下さい。